

地域住宅生産者グループ

くりはらの木で家づくり協力工務店チーム

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
くりはらの家	宮城県全域

グループの特徴とメッセージ

東日本大震災から1年がたち、震災により甚大な被害を受けながらもふるさとに留まり、住むことを希望する人々が多い事を知りました。

私たちは、

- ①地域環境を大切にしたい住まい
- ②日本の伝統・文化を受け継ぎ、人格形成の場となる住まい
- ③気候・風土を生かした住まい
- ④若者の伸びる力を育てる場所の確保

を目的として設立いたしました。

グループの基本情報

グループ名称	くりはらの木で家づくり協力工務店チーム
所在地 (連絡窓口)	宮城県栗原市築館字照越永平78
結成年月	2012年3月
グループ形態	任意団体
主たる業態	工務店
グループ構成 ※各事業者名 は別紙	合計 34 社 原木供給 : 3 社 製材 : 3 社 建材流通 : 3 社 プレカット : 3 社 設計 : 3 社 施工 : 15 社
代表者名	有限会社 伊藤ハウジング 代表取締役 伊藤正男

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000～1,500万円
価格の基準面積	85㎡～100㎡
価格に含まない 項目	地盤改良費、外構工事費、 設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	35戸	
うち地域材活用の住宅	8戸	
うち長期優良住宅	7戸	
グループとしての 施工実績	なし	戸
グループとしての地域 型住宅の受注可能戸数	15戸	
自由記入欄 (上記以外の実績等)	500万円以上の大～ 中規模リフォーム 工事を50戸以上受 注（年間）	

※参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	菊地 加奈	メール	kikuchi_ito@m4.dion.ne.jp
電話番号	0228-22-4620	F A X	0228-22-6420
ホームページ	http://itouhousing.jp		
自由記入欄			

設計方法や地域材活用に関する特徴

■木にふれて心和む

住まいづくり

- ・地域材を活用し、老若男女が和み使用しやすい家づくりを目指します。
- ・設備等も省エネに配慮し、創エネも取り入れるような設計をします。

主に活用している地域材について

地域材の名称	宮城県、岩手県
樹種	杉、アカマツ
産地	宮城県、岩手県
認証制度等	伐採許可証等
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では優良な地域材を50%以上活用し、無垢材をふんだんに使用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■ライフスタイルにきめ細かく対応した家

家は、住むほどに家族の暮らしになじみ、深い味わいが出てきます。その理由は、構造や内装に地域でその確かさを実証された木を中心に使っているからです。

地域によって気候・風土が大きく違う日本だけに、それは良い住まいづくりの必須条件です。

標準プランだけでなく、各敷地に合わせた計画や、性能をご提案いたします。



地域住宅生産者グループ

くりはらの木で家づくり協力工務店チーム

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

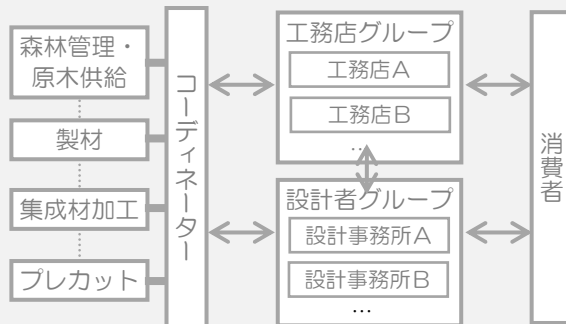
■地域型住宅生産・流通ネットワーク

原木供給業者や製材業者だけでなく、山主との連携も強化し、生産供給の安定を図ります。

また、できり限り地元産の木材を使用する事により、地元の林業も活性化されると考えています。



くりはらの木で家づくり協力工務店チーム



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■ご相談は各事務所にて承ります。

営業時間 AM8:00～PM5:00。

メールの場合は24時間受付。

また、ご希望の場所への訪問も可能です。

■問題があればすぐに各事務所にて対応いたします。住まいと暮らしをきめ細かく見守るアフターケアはいつも住む人の立場になって考えたいというのが私たちのモットーです。

